

各位

会社名 西本Wismettacホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 洲崎良朗
 (コード番号：9260 東証市場第一部)
 問合せ先 取締役 佐々祐史
 (TEL. 03-6870-2015)

たな卸資産評価損の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2020年12月期第2四半期決算において、下記の通りたな卸資産評価損を追加計上することとなりました。併せて直近の業績動向を踏まえ、2020年5月14日に修正いたしました2020年12月期の業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. たな卸資産評価損の追加計上

新型コロナウイルス感染症の拡大により、北米及び欧州を中心に一部地域においてロックダウンの発動や営業規制があり、当社グループの主たる取引先の外食産業向けを中心に、販売が急速かつ大幅に落ち込みました。第2四半期後半以降は営業規制などの段階的な解除に伴い売上高も緩やかに回復傾向にありますが、一部商品では販売不振による在庫回転の鈍化などで賞味期限が迫るなど、今後の販売価格の低下や廃棄ロスの可能性が予想されることから、たな卸資産の評価額の見直しを行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、当社グループでは、たな卸資産評価損8億89百万円を追加計上いたしました。

2. 2020年12月期第2四半期累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)の連結業績と前年同期実績との差異

(1) 前年同期実績との差異

(単位：百万円、%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------------------------|---------|--------|--------|----------------------|-----------------|
| 前期第2四半期実績(A) (2019年12月期第2四半期) | 92,181 | 2,568 | 2,664 | 1,878 | 130円86銭 |
| 当期第2四半期実績(B) (2020年12月期第2四半期) | 79,816 | △1,226 | △1,510 | △939 | △65円43銭 |
| 増減額(B-A) | △12,364 | △3,794 | △4,174 | △2,817 | |
| 増減率(%) | △13.4 | - | - | - | |

(2) 差異の理由

2020年5月14日に公表いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に判断することが困難なため、未定としておりましたが、本日実績値を開示いたしましたため、お知らせするものであります。

※ 業績の詳細につきましては、本日公表の「2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

3. 業績予想の修正

(1) 2020年12月期通期連結業績予想の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------------|---------|-------|--------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） （2020年5月14日公表） | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 今回修正予想（B） | 168,000 | △600 | △1,000 | △500 | △34円84銭 |
| 増減額（B－A） | - | - | - | - | |
| 増減率（％） | - | - | - | - | |
| （ご参考） 前期実績 （2019年12月期 連結） | 182,603 | 4,343 | 4,543 | 2,493 | 173円71銭 |

(2) 業績予想修正の理由

新型コロナウイルス感染再拡大の可能性など、世界経済見通しに対する不透明感は依然強い状況にありますが、第2四半期後半以降、ロックダウンや営業規制の解除により、世界各国において徐々に経済活動が再開されております。当社の主要顧客である外食産業でも営業再開やテイクアウト・デリバリーへの業態変更などの動きが見られる等、期末に向けた売上の動向が一定程度見込める環境となったことから、現時点での当社に対する影響等を考慮の上、上記の通り修正いたしました。

以上